



道路線引き用 スプレー

細線用 約3cm幅
文字書きやマーキング作業に最適



用途

駐車場、倉庫、運動場などの
ライン引きや道路、木材などの
マーキングに

標準塗り面積(1回塗り)	乾燥時間	 無鉛塗料 鉛・クロム化合物は 使用していません。
2.2~2.4㎡	夏期/20~30分	
約3cm幅で75~80m	冬期/40~60分	

商品名・成分
道路線引き用スプレー
合成樹脂塗料
合成樹脂(アクリル)、顔料、有機溶剤
●速乾性でアスファルトに塗ってもにじみません。
●スプレーライナーを使ってアスファルト・コンクリートなどに手軽に線が引けます。
●スプレーライナーを使用せず、手でスプレーすることもできますので、マーキング用としても使用できます。
用途 駐車場、工事現場、倉庫、競技場などのアスファルト面・コンクリート面のライン引きやマーキング

使用方法
①塗る面の砂やゴミ、油分等をとります。②塗料が引ける周囲は、あらかじめマスキングテープなどで囲みます。塗る面にマスキングテープを使って囲い込みよりきれいに仕上がります。③使用するときは、容器を十分に振り(かくはん)の音が聞こえてから約30秒間)、よく混ぜます。使用中もときどき振り動かして中身をよく混ぜます。④塗料を吹き付けるとき、塗る面と噴出口の間は10cmの間隔をとってボタンの押下部分を押しします。スプレーライナーを使用する場合は、スプレーライナーのケースの表示をよく読んでご使用下さい。⑤目立たない部分で試し塗りをして色・噴射の状態・乾燥性・地下への影響・密着性などをよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。⑥このスプレーは逆さ吹き専用です。使用後は、噴出口がつまったり、線幅が乱れたりしないよう必ず容器を上向きにして噴射口の上にボロ布等をあけて2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法 ラッカーうすめ液で洗って下さい。
保管上の注意
1. 幼児の手の届かないところに保管し、子供が誤飲・誤食しないように注意して下さい。
2. 中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

危険	
●引火性あり ●吸入すると有害 ●強い眼刺激 ●機器の障害 ●眠気やめまいのおそれ ●水生生物に有害	
救急処置	●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。 ●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。 ●蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

第1石油類180ml/危険等級Ⅱ/火気厳禁
合成樹脂エナメル塗料(A-046)

ガス抜きキャップの使い方
注意事項
①必ず中身を使い切ってから行して下さい。
②火気のない屋外で行って下さい。
③塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。
④容器がぬれないよう平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法
①ボタンの噴出口にボロ布等をあてがい、マイナスドライバーを使用してボタンを外します。
②キャップの内側にディッシュペーパーを6~7枚詰め、飛び出さないようにセラロハテープで止めます。

取扱い上の注意
①表示の用途以外には使用しないで下さい。②湿度が高いときに塗装すると、塗膜が白くくもり、本来の性能が得られないことがありますので、天気の良い湿度の低い日に塗って下さい。③取扱い中は必要に応じてマスクや手袋を着用して、できるだけ皮膚に触れないようにして下さい。④有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑤塗料を吹き付けるときは、人や物にかならないよう注意して下さい。⑥風の強い日は塗装しないで下さい。⑦容器を上向きにした状態で吹き付け下さい。⑧線幅は噴射口と地面との距離・角度によって変わります。⑨動かす速さによって線の濃淡が変わります。⑩中身が少なくなると、内圧が低下して霧が飛くより線の輪郭がぼやけることがあります。⑪スプレーライナーにスプレーをセットする際は、塗料が飛び散る恐れがありますので顔を近づけたり、のぞき込んだりしないで下さい。⑫新しいコンクリート面、モルタル面に塗る場合は、はがれる恐れがありますので施工後1ヶ月以上たってから塗って下さい。⑬表示してある色は実際の色と多少異なることがあります。⑭塗り面積、乾燥時間は色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。⑮やむをえず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑯容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って、中のガスと塗料を十分に抜き、そのゴミとはっきり区別して捨てて下さい。⑰容器を落さずと中身が吹き出すことがありますので取扱いには十分に注意して下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。
①炎や火気の近くで使用しないこと。
②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。④火の中に入れないこと。⑤使い切って捨てること。
高圧ガス：DME、LPG

③キャップ天面を上向きにして、新聞紙等を敷いた上に置きます。
④容器を逆さにしてシステムをキャップ中央の穴に合わせて強く押し込みます。容器とキャップが固定されてシユートという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。容器が倒れないようにして2~3時間放置後、容器には油性ペンで「ガス抜き済」と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。